



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

# 万葉のまち 市辺

第33号

平成27年10月



市辺地区ふれあい運動会  
元気！力強く！未来へ！



発行：市辺地区まちづくり協議会／東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392  
ホームページ 万葉のまち市辺 <http://www.ichinobe.com/>

万葉のまち市辺

検索

# 猛威振るう災害にそなえ自主防災の取組

安全安心部

最近の鬼怒川堤防決壊による水害や阿蘇山等の噴火を始めとして、近年は不幸にも激甚災害となる自然災害がふえていています。災害発生時には、観測史上かつてない災害であったとか、過去何十年間も異常がなかった箇所で被災した等の報道を耳にすることが増えている様に感じます。各地で想定

外の激甚災害に直面している昨今、今まで安全だから明日も大丈夫という安易な考えに浸るのではなく、何事も発生していない今の内に、私たちも防災の準備をすることが大切であると考えます。

安全安心部では、本年度より市辺地区の防災マップの作成を開始しています。マップには自然災害に加えて、交通安全や防火等の情報も盛込む予定です。地区の皆様の声を数多く取り込んで、実際に使って頂けるマップに仕上げようと考えています。

ご協力の程、宜しくお願い致します。

安全安心部 部長 柴田 俊幸



9月12日蒲生地区で行われた「東近江市防災訓練」の模様（e-おみNOWより）

## 認知症患者の防災について

究極の災害は戦災ですが、それはさておき、今、地球は活動期に入っていると云われています。阪神・淡路大震災や東日本大震災を経験し、最近では火山の噴火やゲリラ豪雨被害が続いており、自主防災組織が各地で立ち上がっていきます。

災害で最も犠牲になるのは社会的弱者の乳幼児・高齢者・障がい者です。

社会福祉協議会では、高齢者の認知症患者の防災について取り組みを進めています。

認知症患者は、近い将来、高齢者の5人に1人の割合になると危惧されています。認知症は他の病気と違い、病気を知らないと、その患者に災害の伝え方、避難誘導が困難な病気です。患者への接し方を学び、災害時に被災者を出さないように、地域の取り組みを進めたいと思います。

市辺地区社会福祉協議会 平尾 猩一

した。本部長は自治会長が当たり、情報連絡班、消火班、救出救護班、避難誘導班、給食給水班、事務局会議委員、消防団役員の合計35名で構成されています。

啓発勉強会として、自主防災、火災予防、地震対策と防災マップの必要性、先進地見学を行いました。防災訓練として消火放水訓練、消火栓ボックス確認ウォーク、簡易担架リレーを実施しました。

資機材調達として消火栓設備の更新、発電機、サーチライト、拡声器が既に準備されており、今年度は炊き出し用鍋釜とリヤカーを揃えました。

また本年内に防災マップ作りの前段階である災害図上訓練(DIG)を計画済みです。防災には日頃から啓発で知識訓練により体で覚えることが大事ではないでしょうか。

(平井 政夫)

## 糠塚町の自主防災組織について

糠塚町におきましては、自然災害や火事などによる災害はいつ発生するか予断を許さないので、常日頃よりその対処が出来る様にと、平成22年度から23年度にかけ、自主防災組織を立ち上げたものであります。

同年に防災倉庫を建設し、翌24年に可搬式消防ポンプを整備いたしました。組織として情報連絡・避難誘導班、消火班、救出救護班、給食給水班の4つの班分けをし、その年の新しいメンバーを決め、年に一度防災訓練を実施しております。防災訓練とふれあいデーという名のもと、訓練を終えた後、町の人達との絆を深めるため一堂に集い、懇親会を開いております。

(福島 新一郎)

## 東市辺の自主防災組織について

私達の自主防災組織は、東日本大震災直後から検討が行わられ、平成24年秋のふれあい祭り時にキックオフされま

## 布施のため池増水による取組み

今年9月9日の台風18号の影響で布施町のため池が増水、下流の布引川も増水し、水位が土手の高さ近くまで達し早朝より当地区役員と見廻りを行いました。

3年前の台風時にはこの布引川が増水し、土手を超えた畑に氾濫し農作物が壊滅的な被害を受けました。当時私も町内会役員をしており、自治会長より招集を受け土嚢積みを行い、一次的な補修を行った記憶があります。

今回は、一昨年と同様になってはと思い、市役所に増水をしている事を伝え指示を待ちました。水門を(上羽田町)開けていただけるとの連絡が入り、同時に上羽田の役員さんが水門を開けて下さり大事に至りませんでした。今回のような予期せぬ大雨があった場合、役所・自治会・周辺自治会の関係者が知恵を出し合い未然に防ぐ手立てが必要である事を肌身に感じ、今後に生かしたいと思います。

(高木 治三郎)

# 平成27年度 市辺地区 市民ふれあい運動会

10月11日、前夜来の雨も上がり多くの参加者を得て予定通り開催されました。各競技では熱戦が繰り広げられ、また文字通り「ふれあい」を楽しみながらも各町テントからの大きな声援で盛り上がり、楽しい一日となりました。

なお、この「市民ふれあい運動会」の競技写真ハイライト集は、ホームページ「万葉のまち市辺」でご覧いただけます。

## 町別得点記録

順位	町名	得点
1	長谷野・布引	80
2	布引台二丁目	71
3	布施	68
4	西市辺	63
5	柏	62
6	布引台一丁目	58
7	三津屋	57
8	東市辺	49
9	船岡	47
10	糠塚	46
	野口	46
12	蛇溝	37



## ホームページのアクセスデータ 広報部

ホームページのリニューアルに伴い、7月4日よりアクセスデータ集積（注）の機能を設置しました。これはホームページをご覧になる皆様方が、情報源としてどのように活用されているのかを知り、より身近に感じて頂けるよう、ホームページ作りをするための資料にすることを目的にしたものです。

以下、集積2ヶ月半を経て得られた結果の一部をご紹介します。こうしたデータも参考にしながら、記事内容を構成していくべきだと思っています。

（注）同一アドレスから同一日付内に、何回訪問してもカウントは1回です。

①各国訪問者数(全46か国) 2015.09.20 09:00現在

国名	人	国名	人	国名	人
日本	1,341	ポルトガル	6	アラブ	
アメリカ	180	香港	5	アルメニア	
ブラジル	55	ベトナム	4	アルゼンチン	
ウクライナ	28	イス		ブルガリア	
ロシア	23	フィリピン		バーレーン	
フランス	19	ポーランド		チエコ	
中国	17	トルコ		エクアドル	
ドイツ	16	チリ		クロアチア	
イタリア	15	スペイン		イスラエル	
オランダ	12	インドネシア		マダガスカル	
カナダ	8	アイルランド		ネバール	
イギリス	2	ラトビア		ルーマニア	
インド	7	マレーシア		シンガポール	
リトアニア		ペルー		タイ	
メキシコ		スウェーデン		台湾	
				南アフリカ	

②記事別の訪問者数 Best30

	タイトル	人		タイトル	人
1	ホーム(トップページ)	844	16	暮らしの歳事記(Category)	32
2	蒲生野万葉短歌会「中学生の部」	155	17	第21号～	31
3	第3回蒲生野短歌会 短歌大募集	122	18	掲載動画集	29
4	蒲生野万葉短歌会「小学生の部」	99	19	ライブ配信	27
5	市辺地区的歴史	51	20	意見・問合せ	27
6	写真記事集No.1	50	21	古保志の里を訪ねて	27
7	市辺地区について	49	22	市辺航空写真[画像]	26
8	津島諒め	48	23	各部会活動の紹介	25
9	サイトマップ	46	24	サイトポリシー	24
10	広報部	41	25	布施山城を訪ねて(ダイジェスト版)	24
11	ロケーション	39	26	蒲生野万葉短歌会(11月10日)	24
12	新米の季節「みずかがみ」収穫	38	27	古保志の里を訪ねて里の由来	23
13	まち協予定表	36	28	蛇溝の地蔵堂(蛇溝町の古文書より)	23
14	推奨されるブラウザについて	36	29	市辺押盤皇子のお墓	22
15	市辺航空写真[動画]	34	30	薬師堂裸まつり	21

## 第三回「蒲生野万葉短歌会」入選者が決定!!

一般の部は全国20都道府県から151首、小中高の部は16校1511種の応募がありました。表彰式は10月25日(日)『いちのべ万葉フェスタ』会場(船岡中学校)で行われます。(入賞者の敬称略 写真は、小・中・高の部の審査風景)

### ＜一般の部＞

蒲生野大賞 米野達彦(野洲市)、紫野賞 中村好美(東近江市)

標野賞 中島紀一朗(東近江市)

佳作 内藤賢司(福岡県八女市)・武田功也(大津市)・深尾聰子(近江八幡市)  
島崎佳子(大津市)・小林清次郎(東近江市)

### ＜小学校の部＞

優秀賞 森田泰亘(八日市西小学校)

いちのん賞 本道日菜(八日市西小学校)

いちのべー賞 足立明依(五個荘小学校)

### ＜中学校の部＞

優秀賞 塚本鈴音(五箇荘中学校)

いちのん賞 藤村香歩(船岡中学校)

いちのべー賞 北村紘大(五箇荘中学校)

### ＜高等学校の部＞

優秀賞 藤原麻衣(東京都練馬区)

いちのん賞 城内らら(兵庫県立農業高等学校)

いちのべー賞 白井鈴(兵庫県立農業高等学校)



## 老々連が万葉フェスタの準備

9月25日午後、地区老々連の役員が集まり「いちのべ万葉フェスタ」の準備作業をされました。今年は、恒例の竹とんぼと竹コッポリに加えてミニ凧の制作に取り組まれています。毎年、子どもたちに好評の竹とんぼの在庫があることから、新たにミニ凧を子どもたちと一緒に作ろうと企画されたものです。



さすが老練、なかなかのできばえのようです。凧の図柄は「ドラえもん」「妖怪ウォッチ・ジャパニン」「携帯ルール」の3種類とのことです。

多くの子どもたちに喜ばれる万葉フェスタが待ち遠しい反面、当日うまくいかが少し心配だと言われていました。

①予想以上の世界46カ国から訪問者がありました。アメリカ・ブラジルなど日本と比較的関係の深い国からのアクセスが多いことから、外国に居住される日本人や日本に関係ある人が訪問されていると推測されます。

②「蒲生野万葉短歌会」関係の閲覧が特に多く、短歌募集締切の9月1日に合わせ、夏休み終盤の8月20日過ぎから急激に増え、8月28日には最高のアクセス数60人/日を記録しました。従来の歴史や地域に関する記事を閲覧される方は多く、新しく「暮らしの歳事記」にカテゴリーされた記事もご覧頂いているようです。時間が経つと既読記事が増えてくることから、こうした定期的な分析によって、幅広い世代が共有できる「コンテンツ」を増やしていかなければと思っています。

# 滋賀安全なまちづくり大賞に輝く

10月3日に「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり県民大会が甲賀市で開催され、第一部で野口町の舛田安藏さんが滋賀安全なまちづくり大賞を受賞されました。11年間と長きにわたり交差点での見守り交通安全活動が評価されたものです。

少年補導功労者では西市辺の岡地良子さんと蛇溝の小西恵

美子さんが表彰されました。

第二部の東近江警察署「伊藤劇団」による特殊詐欺防止啓発劇では市辺駐在所の鳥居さんが詐欺師グループ子分役で熱演されました。



## 健康福祉部

### 見直そう「命のバトン」を！

平成24年、25年度と2年間に亘り「命のバトン」配布事業を市辺地区自治会連合会を通じて行いました。その後、みなさんはどのように扱われているのでしょうか。多分「命のバトン」は、どこにあるか分からぬ等の状況ではないでしょうか。

もう一度見直しましょう。日頃意外と災害のこと事故のこと等忘れてしまいがちです。どこかで風水害、土砂崩れ、台風被害、原発事故による災害、地震災害と日本は災害が多い国なのに、発生すると「想定外」で片づけてしまわれがちです。もっと事前に備えることが必要かと思います。

特に高齢化社会に於いては、救急を必要とする機会が多いと思います。掛かりつけの病院名、病名、処方されている薬などの情報を救急医療情報紙に記録し、冷蔵庫に保管して、救急隊員は医療情報があることによって迅速な処置ができます。

医療情報紙の申込みは下記までおねがいします。

市辺まち協 050-5802-3392

市辺地区コミュニティー 0748-22-0203まで

## 子ども健全育成部

### 「子ども防災セミナー」を開催

4月の時点で、子ども健全育成部として何を為すべきか、と悩んでいました。子ども達には、一番に命の大切さを解つてほしいという思いで、部会を開き話し合いを重ねた結果「子ども防災セミナー」を開く事になりました。

まち協、安全安心部会をはじめとして、子ども会連合会、第6分団消防団員と、東近江消防署、消防士さん2名の方々にご協力を頂きました。

もし今、地震が起きたら何をどうすれば良いのか、けがをしている人を見た時は、先ずしなければならない事を座談会形式で教えて頂き、その後、西市辺町防火用水にて、安全安心部会による放水訓練を見学させて頂きます。

この異常気象の現代、避難をしなければならなくなったら時、必要な非常食とは、どの様な物かも勉強させて頂きます。大人も、子どもも、多くの方の参加をお願いします。

○ 日時 12月6日(日) 10時

○ 場所 市辺コミュニティセンター

## 部会だより

## 自然環境部

### まちづくり農園「おいもの会話」

「9月26日は、いきいき塾の小学生、10月19日は保育園児、日は未定だけど幼稚園の子ども達も僕ら（おいも）を掘りに来るんだって」「楽しみだなー」「小学生は後コミセンでスイートポテト作りを習うんだって」「そのままでおいしいのに、スイートポテトにしたらもっとおいしくなるね」「子ども達がドロンコになつて掘ってくれたら、きっといい思い出になるよ」「写真も撮るかなー」「子どもも僕らもドロンコ、楽しい写真になるね」「僕らは、生ごみを捨てずに作った堆肥で育てられてるから、おいしいし体にもいいんだよ」「そうそう保育園の日は収穫祭もやるんだ。誰でも参加できるから、たくさん的人にきてほしいね」（小西恵美子）

## 地域活力部

### 万葉公園の「むらさき」来年度に期待

本部のテーマであるむらさき栽培の普及の為、5月上旬に約120株、万葉公園に植栽しました。6月下旬には有志の皆さんと除草作業を実施、全ての株から綺麗な花が咲いていて夏の訪れを感じていました。

ところが、7月下旬に2回目の除草作業を実施したときには、殆どの株が枯れていて参加の皆さんと落胆するばかりでした。これは猛暑が原因と思われます。

今後は、初心に立ち返り関係各位のご意見を仰ぐ予定です。

（森島安夫）

## 編集後記

ついこの間までは暑い日が続いていたのに、日中は過ごしやすく、朝夕めっきり肌寒さを感じ秋めいてきました。秋といえば「スポーツ」「芸術」「食欲」等を思い浮かべますね。特に秋の味覚には、秋刀魚、松茸、梨、柿、栗などたくさんあります。秋刀魚は昔、七輪で焼いて食卓に並んだものですから、「さんま焼いても、家焼くな、火の用心、御用心」と、子どもの頃、夕方に歩いて回ったのを思い出しました。

この秋も「戸締り」「火の用心」を忘れずに、スポーツや紅葉を楽しみに出かけませんか？